

色鮮やかな紅葉でおもてなし



◀紅葉まつりのスタートを飾ったバルーンリリース



◀色鮮やかに色づいた紅葉を楽しむ来場者ら

11月14日(木)から24日(日)まで、西溪公園、多久聖廟周辺を会場に「孔子の里紅葉まつり」が開催されました。14日にはオープニングイベントが行われ、多久市観光協会の野中保園会長が「素晴らしい紅葉、そしてイベントで来場者をおもてなしします」とあいさつ。その後、杉の子保育園児によるマーチング、バルーンリリースが行われ、来場者全員で開会を迎えました。

孔子の里紅葉まつり

期間中は多久の郷土芸能の披露や利き酒、JR九州主催の「孔子の里 紅葉まつりウォーキング」、サテライト会場の多久市物産館では寒蘭展や論語書道体験などの参加型イベントも開催され、来場者は鮮やかに色づいた紅葉とともに深まる秋を楽しみました。

伊藤節子さんが文部科学省から表彰！

平成25年度生涯スポーツ功労者表彰

文部科学省「平成25年度生涯スポーツ功労者表彰」が10月11日に東京で行われ、伊東節子さん（北多久町四下）が受賞されました。この表彰は、地域または職場におけるスポーツの健全な普及および発展に貢献し、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者およびスポーツ団体に対し授与されるもので、表彰後の10月21日に横尾市長へ報告されました。

伊東さんは、27年間勤められた救護施設「しみず園」での障害者スポーツ・レクリエーション指導がきっかけでレク指導員となられ、長年にわたり公民館や体育館で高齢者や障害者、子どもたちと幅広く、レクダンスやペタンク、スポーツ吹き矢などを指導されました。この活動は多久市だけに留まらず、佐賀県全体での活躍が認められての表彰でした。

伊東さんは「最初の人集めが大変でした。みなさんを楽しませていますが、私もみなさんからパワーをもらっています」とこれまでの活動を振り返られました。



▲報告後の伊東さんと横尾市長

芸術の秋 県立美術館所蔵作品展

10/29 ~ 11/26

佐賀県立美術館では、今年の10月で開館30周年を迎えるにあたって所蔵作品を公開する「佐賀県立美術館コレクション展」が展開されています。



コレクション展の連動企画として、市役所1階市民ホールでは、「佐賀県立美術館サテライト展示—素敵な絵画をあなたの近くにお届けします—」が開催されました。今回の展示は、コレクション展で展示した作品のうち、来場者からサテライト施設等での展示要望の多かった作品が展示されました。

ポイ捨てのない美しいまちを目指して

10/25

佐賀たばこ販売協同組合小城・多久支部（大坪幸佑支部長）が、環境美化活動を通じた地域貢献として、多久市役所から北多久郵便局跡までの国道と県道沿いの美化活動を行いました。



この活動は10年以上続けられており、今回は12人が参加。大坪支部長は「きれいになったまちを見て、ポイ捨てをやめようと思ってもらえるように毎年続けています」と思いを語りました。